授業科目　連携基礎ゼミ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
各学科担当教員	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GIO】

＜概要＞将来保健医療福祉の専門職間において連携・協働を実践できるようになるために，２年前期の履修内容を踏まえて各学科の専門職としての特性や志向性をお互いに理解し合う．また，３・４年次において「保健医療福祉連携学」を学ぶために，グループワークやチームワークの重要性を，課題への取り組みを通して理解する．

【学習目標・行動目標：SBO】

１．保健・医療・福祉に関連する他職種を理解することができる．
２．他の学生の所属する学科で養成される専門職の特性や志向性をグループ内（教員含む）に説明できる．
３．課題への取り組みを通して，グループワークやチームワークの重要性を説明できる．
４．連携・協働がスムースに進むために必要な条件を挙げることができる．
５．相手の理解を促すコミュニケーションの取り方を実践することができる．

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実践行動学パート２	3,5	各学科
2	実践行動学パート２	3,5	同上
3	実践行動学パート２	3,5	同上
4	実践行動学パート２	3,5	同上
5	オリエンテーション（連携基礎ゼミの意義，目的の説明）アイス・ブレーキング	3,5	ゼミごと
6	課題１：保健・医療・福祉の専門職種とその役割を調べて列挙する	1,2,4	同上
7	課題２：自らの学科の専門性について他学科に説明する（質問する）	〃	同上
8	内容：どんな人が対象になるか？どんな場所や条件で働くか？	〃	
9	具体的な問題に，どう対応すればよいか？	〃	
10	課題３：テーマに沿った活動（調査、ディスカッション、資料の作成等）	3,5	同上
11	テーマに沿った活動（調査、ディスカッション、資料の作成等）	〃	同上
12	テーマに沿った活動（調査、ディスカッション、資料の作成等）	〃	同上
13	テーマに沿った活動（調査、ディスカッション、資料の作成等）	〃	同上
14	テーマに沿った活動（調査、ディスカッション、資料の作成等）	〃	同上
15	テーマについて他グループとの合同発表会を行う。評価	1 ～ 5	全学科合同
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27	※以上の内容については多少の変更があり得る．		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	実践行動学パート２		実践行動学研究所	
参考書	特に指定しない			
その他の資料	必要に応じて配布する			

【評価方法】

出席，グループワークへの参加態度，及びレポート
※出席回数が著しく不足した場合、単位取得ができない．

【履修上の留意点】

３年次開講の保健医療福祉連携学（３分野）及び４年次開講の連携総合ゼミの基礎をなすものであり，学生に積極的な参加が望まれる．
※実践行動学パート２は９月 29 日（土）に集中開催．